

# つなごう肱川

～上流から下流まで・未来へ・子どもたちへ～

「長浜(な)がはま」から「宇和(う)わ」・「内子(う)ちこ」まで(つなごう)

## ■つなごう肱川プロジェクト

- 平成30年7月豪雨により甚大な浸水被害が発生した肱川水系では、上流から下流まで関係機関が連携し、肱川流域全体の防災・減災のために「肱川緊急治水対策(ハード対策)」と「肱川の減災に係る取組方針(ソフト対策)」が一体となった「つなごう肱川プロジェクト」を実施しており、緊急的対応を含めた3段階で治水対策を実施しています。
- 概ね5年間で、肱川中下流部における築堤や暫定堤防のかさ上げなどの河川整備を集中的に実施してきました。
- 今後は平成30年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とした更なる河川整備、ダム建設・改良を進めます。



### ● 〈河川改修〉 河道掘削 (豊中地区)



### ● 〈流域治水整備〉 都谷川排水機



①緊急的対応(令和2年5月完了)

平成30年7月洪水の被害を軽減

②概ね5年後(令和6年6月1日完了)

平成30年7月洪水を越水させない

③概ね10年後

平成30年7月洪水と同規模を安全に流下させる

河川(国・県)

- ・予備費による樹木伐採、河道掘削
- ・野村ダム下流など土砂堆積部河道掘削
- ・暫定堤高上げ(+0.7m)

野村ダム

- ・事前放流(600万m<sup>3</sup>を確保)
- ・洪水貯留準備水位の更なる低下

野村ダム、鹿野川ダムの放流警報

- ・新たな放流警報手法(試行開始)

〈令和元年〜〉

鹿野川ダム改造により増大した容量の有効活用

- ・野村ダム操作規則変更
- ・鹿野川ダム操作規則変更

下流河川(国・県)

- ・河川激甚災害対策特別緊急事業による堤防整備、暫定堤防の高上げなどの対策を実施

野村ダム下流など

- ・河道掘削などの対策を実施

治水協定

- ・洪水調節可能容量(761万m<sup>3</sup>を確保)

激特事業による流下能力向上に

より可能となるダム操作規則の変更

- ・野村ダム操作規則変更
- ・鹿野川ダム操作規則変更

更なる河川整備等(国・県)

山鳥坂ダム完成(2032年完成)

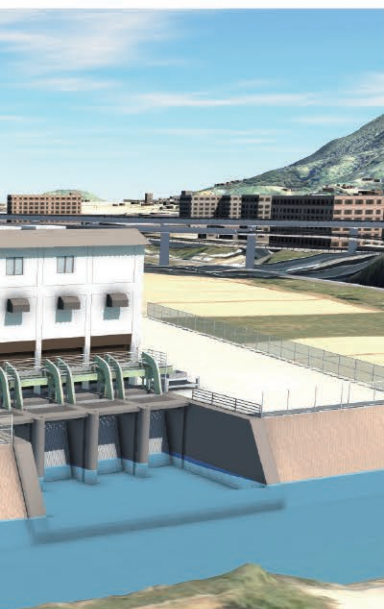
野村ダム改良完成(2027年度)

〈河川改修〉  
河道掘削(豊中地区)

〈流域治水整備〉  
内水対策  
(都谷川排水機場整備)

〈環境〉  
肱川かわまちづくり(第1期)  
事業モニタリング

内水対策  
場整備



[河川事業箇所図]